

これから求められる学力とは

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
(学びに向かう力、人間性)

何を理解しているか、何が
できるか
(知識・技能)

理解していること、できる
ことをどう使うか
(思考力・判断力・表現力)

現代社会は急速に変化し複雑化しています。そのような中で、困難な状況や急激な変化にも主体的に対応し、他者と協動的に関わり最善解を見いだしていくことができる『社会の創り手』の育成が求められています。

これにに応じて、平成31年度全国学力・学習状況調査では知識と活用を一体的に問う調査問題に変更されます。また、その翌年の大学入試では共通テストに記述式問題が導入されます。福岡県立高校入試問題でも思考力、判断力、表現力を問う問題が重視されます。

そこで福岡県教育委員会は、学校が児童生徒に育むべき資質・能力を上図のように3つの柱で整理しました。

そのため授業では、課題解決に自ら取り組もうとする『課題意識の充実』、目的や条件を踏まえ、自分の考えや理由を的確にまとめる『書く活動の設定』、知識を相互に関連付けてより深く理解し、考えをつくる『深い学びの実現』が求められるようになります。

以前もお伝えしたように西中学校ではこうした状況を踏まえ、重点目標(学校が最も力を入れて取り組む課題)の一つを『情報分析・活用し、根拠を基に表現

する生徒を育成する』とし、授業研究等を通して取組を進めています。

生徒への学習アンケートを実施したり、定期考査で根拠を基に表現する問題を出題したりするなど、表現する力がどれくらいあったかを測っています。

もちろん今までどおり基本的な知識や技能を身に付けることは重要です。授業時には毎時間『めあて』と『まとめ』を必ず書かせ、何について学ぶのか、どういったことが理解出来たのかを明らかにするようにしています。さらに、学習したことをしっかりと定着させるためには家庭学習が重要です。家庭学習の充実には西中ブロックで作成した『家庭学習のすすめ』を用いて説明させて頂いています。家庭での協力をよろしくお願いします。

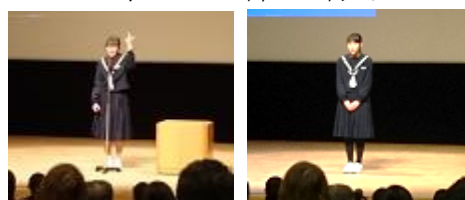
感謝状をいただきました
法務省および全国人権擁護委員連合会が主催する全国中学生人権作文コンテストに対して多大な協力をし、中学生の人権意識の高揚に尽力したとして、感謝状をいた



できました。生徒が人権について真剣に考えたことを表現できた成果です。

英語スピーチコンテスト

英語のコミュニケーション能力の育成と英語力を伸ばす意欲を高めることを目的に南筑後中学生英語スピーチコンテストが19日おこなわれ男女1年生の暗唱部門、2年生のスピーチ部門にそれぞれ西江さん、中島さんが出場しました。



発表中の西江さん(右)と中島さん

奨励賞を受賞

平成30年度福岡県学校図書館コンクールに『学校図書館の運営と学び方・特色ある活動』で応募し、奨励賞をいただきました。23日福岡市で表彰式が行われました。(写真は表彰を受ける本校の図書司書内藤先生)

